令和元年９月３０日

横浜市立富岡小学校

学校だより　10月号

令和元年度の折り返し地点！

後期が始まります！

校長　　浅野　修一

令和元年度もこの１０月で前期が終わります。この４月に着任して以来、多くのまちの皆様、保護者の皆様に支えられ、子ども達がすくすくと伸びていく富岡小学校のすばらしさを実感しております。それぞれの学年での学習や活動は今まさに充実の時期を迎えています。

９月１１日（水）、５年生はみなとみらいホールで開催された「横浜市心の教育ふれあいコンサート」に行ってきました。２０年以上の歴史を重ねたこのコンサートは全横浜市立小学校が招待されます。ホール正面に据え付けられたパイプオルガンの荘厳な音、高らかなトランペットの音、お腹まで響くティンパニーの迫力ある音、表情豊かなヴァイオリンの音…、一つひとつの音色や奏でる旋律は違っても、指揮者のタクトでひとつになると、大きく深い音となりすばらしい音楽になることを、子ども達は全身で感じとっているようでした。私はエルガー作曲の行進曲「威風堂々」第１番の演奏が心に残りました。卒業式の入場曲などで使われることが多く、自分自身もよく知っていましたが、ホールで聴くその曲は全く別の曲のように思われました。目の前で演奏されるオーケストラの音は、やはり本物でした。「本物」に触れる機会がとても大事だということを改めて認識しました。アンコールでは、会場全体で手拍子をして参加者全員が一体となりました。約1時間のコンサートでしたが、子ども達は多くのことを学んだのではないでしょうか。

さて、前期もあと２週間ほどで終了します。１１日（金）には前期終業式を行い、あゆみが手渡されます。あゆみには前期に頑張ったことや後期に頑張ってほしいことなど、お子様一人ひとりに対する担任の思いが書かれています。ご家庭でもお子様とご一緒にご覧いただき、前期の振り返りをするとともに後期に向けてのアドバイスをお願いできればと存じます。

また、夏休み明けの時期をとらえて、生活目標でもある「あいさつ」について指導しました。学校で共に過ごす友達同士のあいさつはもちろん、登校時などに子ども達の安全を見守ってくださる保護者、地域の方々にも元気にあいさつすることで、お互いに気持ちのよい一日になるという体験をたくさん積み重ねていってほしいと思っています。「成功体験」したことは自然と身につくものです。あいさつの声があふれる富岡小学校になることを期待しています。

次第に秋のさわやかな風を感じる季節になってきましたが、まだまだ暑い日もあります。また朝夕の寒暖差が激しく、体調を崩しやすい時期でもあります。お子様の体調維持につきまして、引き続きご協力いただきますようお願い申し上げます。